

GakuNin RDMの多要素認証に 向けた考察

2021/9/10

NII RCOS 下山武司

多要素認証の導入について

- 現在のGRDMにおける認証は以下の2種類

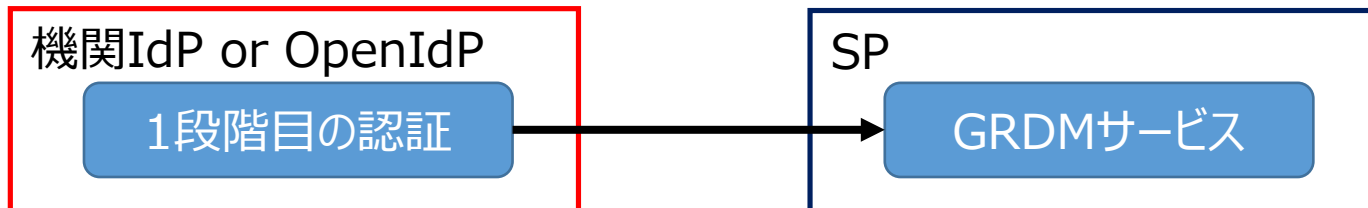
- 学認フェデレーション参加機関によるIdP
- 学認が実施しているOpenIdP

⇒多くの参加機関は、ID・PWによる単要素認証と認識

- 機関ユーザ様から『多要素認証』へのリクエスト有り

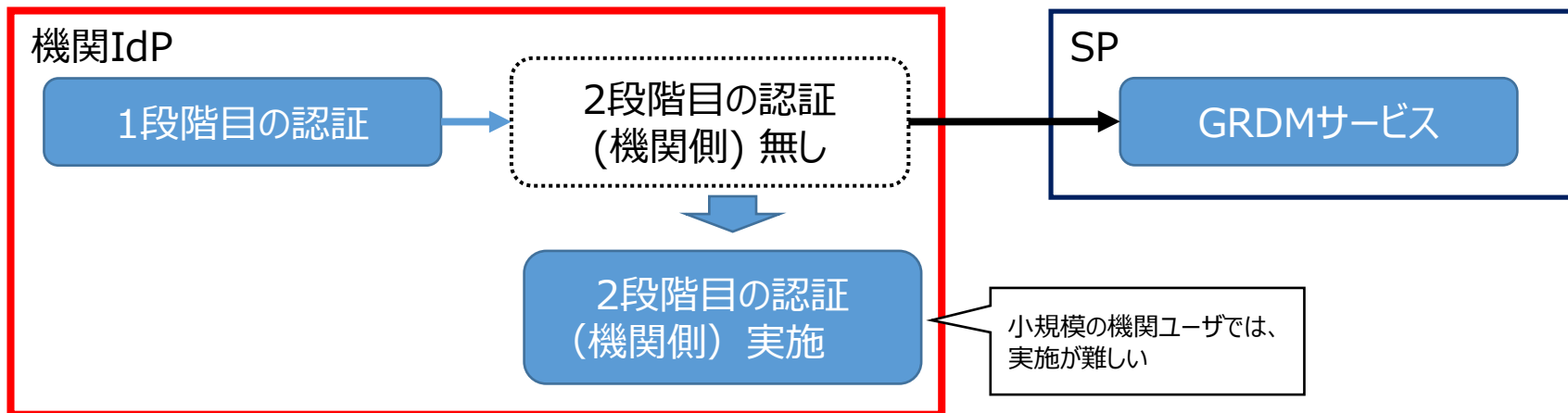
- ただし、小規模機関の場合、自身で多要素認証を導入するのは敷居が高い

現状

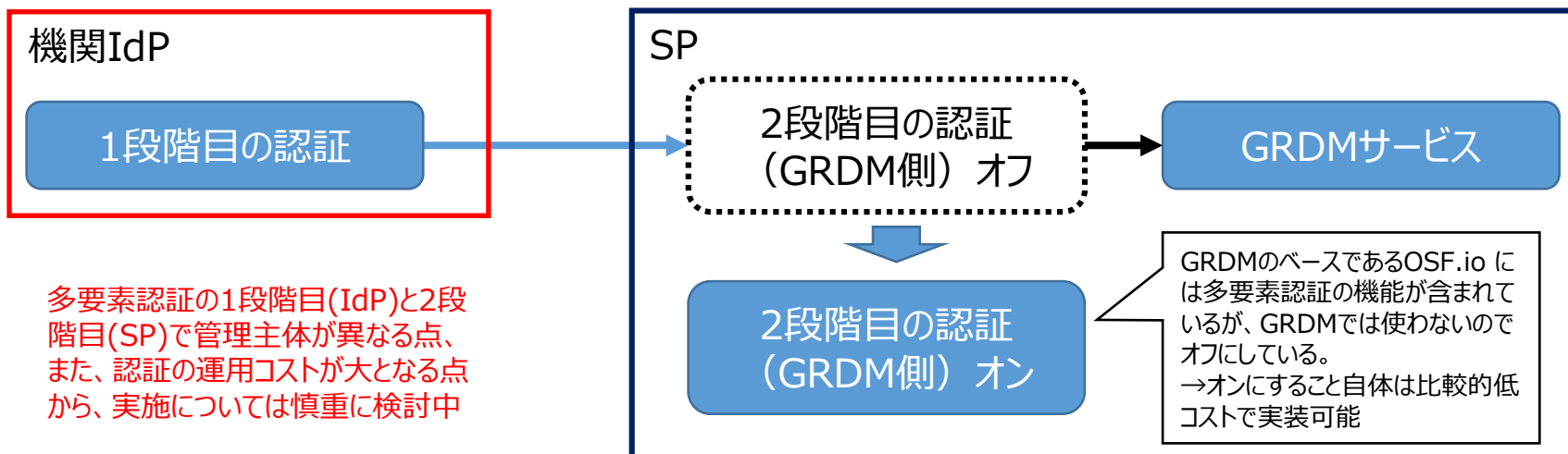


多要素認証へのアプローチ(2種類)

・機関IdPで提供



・2段階目をSP側で提供



多要素認証の1段階目(IdP)と2段階目(SP)で管理主体が異なる点、また、認証の運用コストが大となる点から、実施については慎重に検討中

さらに多要素認証の選択的利用

- 1段階目が機関IdPで、2段階目が外部の認証を選択利用できる様にしてもよい？
 - 機関のIdPで多要素認証を実装されている場合は、利用者は他の多要素認証はオフにできる仕組み

